

◆企画広報室より

企画広報室 小林 昌人

早いものでもう3月、今年度最後の月です。

皆さんにとって、今年度はどんな1年だったでしょうか？27年度入学した皆さんは、中村学園での新たな生活がスタートし、毎日が新しいことの連続だったのではないのでしょうか。そして、今年度卒業される皆さんは、学校生活はこれで終わりますが、社会に出ても中村学園の卒業生としての自信と誇りを胸に、それぞれの舞台で活躍できることを心から願っています。在学生の皆さんは、春休み中にこの1年を振り返り、4月から新たな目標に向かって更なる飛躍の1年にしていきたいと思います！

4月からは新入生が中村学園の仲間入りをします。夢と希望を膨らませて入学してくる新入生の皆さんを“笑顔”で温かく迎えてあげてください！また、頼れる先輩として、後輩が相談しやすい雰囲気を作ってください。

中村学園では、最後まで志ある受験生をサポートしていきたいと思えます。下記の日程でオープンキャンパス、入学選考を開催します。特に3/5(土)、24(木)は全学年対象の特別イベントを開催します。進路を迷っている高校生や色々な職業に興味のある小中学生を対象とした誰でも参加できるイベントです。ぜひ後輩や家族、友人等にお知らせください！

『なりたい自分』を実現して、各業界で活躍する先輩たちが作り上げてきた中村学園を、みんなでさらに盛り上げていきましょう！

★特別イベント「春休みスペシャル版オープンキャンパス」

「未来発見！進路を考えよう！！」

3月5日(土)13:00～16:00

3月24日(木)13:00～16:00 ※詳細はHPで！



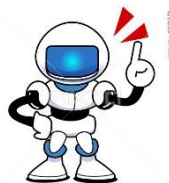
◇学校・入学選考説明会 開催日程

- ・3月5日(土)13:00～16:00 【特別イベント】
- ・15日(火)17:00～18:30
- ・24日(木)13:00～16:00 【特別イベント】

◇入学選考日程 特待生、一般、自己推薦
社会人、留学生選考

- ・第5回入学選考 3月17日(木)
- ・最終入学選考 3月31日(木)

※出願は各選考日前日15:00までです



3月の行事



1日(火)1MIS 春季病院実習(～3/31)

3日(木)J検 CBT

5日(土)オープンキャンパス 春スペシャル版

13:00-16:00

7日(月)進級・卒業判定会議

10日(木)登校日(全学年)、大掃除

11日(金)同窓会入会式

12日(土)終業式、卒業式、謝恩会

14日(月)幼稚園卒園式

15日(火)オープンキャンパス 17:00-18:30

17日(木)第5回入学選考

20日(日)春分の日

21日(月)振替休日

22日(火)新入生オリエンテーション

24日(木)オープンキャンパス 春スペシャル版第2弾

13:00-16:00

31日(木)最終入学選考

新入生オリエンテーション(22日不参加者)

4月の行事



6日(水)新入生オリエンテーション ～8日(金)

在校生オリエンテーション

健康診断(PM:卒年次、教職員)

7日(木)在校生前期講義開始

10日(日)始業式・入学式・後援会入会式

11日(月)新入生宿泊研修(御殿場) ～13日(水)

14日(木)新入生前期講義開始



◆「2017就活」、カメも走り始めている？

進路室長 橋野 幸男

「2017年3月卒業予定者」の採用・就職活動に関して、2月中に次のような情報の発信がありました。

①『～安心して就活生を見守る・応援する～ 保護者のための就活講座』
(2017版、第1回～第10回分)

2月2日：(株)リクルートキャリア「就職みらい研究所」より

②『就職白書2016 ー採用活動・就職活動編ー』

(2016年卒の採用活動の総括〔企業〕、同就職活動の総括〔学生〕、企業と学生とのギャップ〔企業・学生〕；2017年卒の採用活動の展望〔企業〕)

2月16日：同上

③日経電子版『お悩み解決！就活探偵団2017』開始

2月18日：日本経済新聞社より

④『県内主要30社、17年新卒“採用増”7社。“今春並み”も7社。』

/ 11社、3～5月に面接。選考、早期化傾向

2月22日：「静岡新聞」より

①は、2016版を再構成したものです。第1回は「2017年卒業生の就活を知る」というタイトルで、「新・就活スケジュール」について説明しています(経団連の「指針」。採用広報開始：3月1日。選考解禁：6月1日で、前年度に比べ2か月の前倒し)。第2・3回では「保護者の世代と違います！」として、保護者世代と現在の就活生とでは就活を取り巻く環境が大きく変化していることを述べ、また、「就活用語」の基礎を解説しています。

②について、ここではいくつかのデータを引用しましょう。まず、a.「2017年卒の採用活動の展望〔企業〕」に、次のような集計結果があります。

- ・採用選考解禁前の5月までに「面接」、「内々定・内定出し」を始める企業の割合(月別の累計)は、それぞれ**67.9%**、**44.1%**
- ・単月で見ると、「面接」の最大値は「4月」の33.9%、次いで「6月」27.4%。「内々定・内定出し」は、「6月」41.6%、「5月」22.1%の順次に、b.「企業と学生とのギャップ〔企業・学生〕」の、『企業の応募学生に対する評価、学生の自己評価』では、
- ・企業が「不十分 + やや不十分」と評価する項目の上位3つは、『業界研究』、『企業研究』、そして『仕事・職種研究』。いずれも3割に迫るレベル



・企業の評価と学生の自己評価とのギャップ（企業－学生）が最も大きいのは、「仕事・職種研究」（－14.5 %ポイント）
また、『企業が採用基準で重視する項目』では、
・1位の「人柄」93.0 %に次いで、「自社 / その企業への熱意」
79.0 %、「今後の可能性」68.4 %

③のタイトルや冒頭文は、刺激的なものです。「すでに内定4つ！
就活『100日戦争』は始まっている」がそのタイトルで、次の文が続きます。

「速足だが調子がいいウサギがサボっているうちに、遅足でも地道にコツコツ進むカメが先にゴールにたどり着く。これは寓話の話だが、17卒の新卒採用活動の世界では事情はちょっと違う。有能なカメはすでに猛烈なスピードで走り始めているのだ。」

そして、こんな学生を紹介しています。「どちらかと言えば、一発勝負は苦手」というタイプで、「じっくりと人事担当者に見てもらったほうが、自分の良さが伝わるはず」との思いから、慎重な企業選びの上で「インターンシップ」に昨夏から参加。すでに複数の内定を獲得 ー。

④は、静岡新聞社が県内に拠点を置く主要企業 30 社を対象に、2月上旬に実施したアンケートの結果です。

... ..

これら①～④をつなげていくと、どのようなことが見えてくるでしょうか。③でも言及されているのですが、「2017 卒」学生の就活「勝負時」は、「広報開始 3 月 1 日→選考解禁 6 月 1 日」で、僅か 3 か月。日数にすると約 100 日で、ここ数年では最短の期間です（本紙・昨年 12 月号も参照）。4 月中・下旬には大手企業の「エントリー・シート」提出がピークになるという日程から、学生が業界や企業の研究に費やすことができるのは、実質 1 か月半しかないこととなります（なお、②の a.や④で見たように、「指針」のスケジュールにかかわらず選考を開始する企業も多数あります）。このように、「2017 卒スケジュール」によって最も影響があると思われるのは、「業界・企業研究」や「職種・仕事研究」に取り組める時間が大幅に減少する、という点です。

先に②の b.からの引用で見たように、そもそも企業は学生のこれら研究が不十分だと懸念しています。「採用後のミスマッチ」や、ひいては「早期退職」につながりかねないからです。また、「採用基準」として重視している「企業への熱意」も、これら研究があっ

てこそそのものだという改めようまでもありません。

自分の能力が活かせる分野を広く探索した上で、活動分野を絞っていく。そして、短期集中で「企業・職種理解」を深め、「志望動機」を形成する ー。「2017 就活」では、これが従来以上に重要になっているのです。

本学でも、情報システム系の学生が、複数のインターンシップに参加の上、すでに採用選考にチャレンジしています。皆さんも、それぞれが志望する業界や企業の採用スケジュールなど諸情報を適確にキャッチし、「早め早めに、深い」行動をとっていくように心掛けてください。



◆第2期実習を終えて

総合福祉学科 1年 吉永 千恵

第2期実習を終えて、多くの知識や技術を学ぶことができました。利用者様と関わるうえで、「コミュニケーションの図り方」がとても重要になると感じました。利用者様とコミュニケーションを図ったうえで、その方の生活歴や健康状態を知る事の大切さは、第1期実習と学校での学習で学んでいました。今回の実習を通してその全体が生活支援、介護に繋がっていることに気づくことができました。

また、介護技術を行う際には学校で学んだことを活かし、一つひとつの動作に対し、安全に行うように心がけました。この時に一番重要になることが「声掛け」だということを実感しました。

この二つを意識し実習に取り組みました。声掛けを重視し様々な関わりを利用者様と持つことで、より深い関わりを持てるようになりました。このことを続けることで利用者様の生活を少しずつ知ることができました。生活を知ることが個別支援の一步になるということ学びました。

個別支援の重要性と必要性を意識しながらさらに「知識や技術を向上させていきたい！」と強く思っております。



◆保育実習Ⅱ(保育所)を終えて

子ども心理学科 1年 鈴木 莉里花

私が今回の実習で大切であると学んだことは、相手を「思いやる心」です。当たり前のことですが、とても大切なことです。今回の実習では主に1歳児クラスに入りました。まだ上手に話せない子どもがどうしたいのか分からずとても困りました。そんな時は、相手からの反応を待つのではなく、「相手はどうしたいのか?」「何をしてほしいのか?」を考えて積極的に子どもに関わる事の大切さを学びました。これは社会でも大切なことです。保育者に「何をすればいいですか?」と聞くことも大切ですが、実習生がどう動いたら保育者の補助になるのか?と考えるだけで自分の動きも良くなりました。

今回の実習では、初めて部分実習を行いました。改めて自分の技術の足りなさを実感しました。もっと絵本の読み方や手遊び、声掛けについて努力する所があり、次回の実習では子どもの反応に応えられるようになりたいと思います。

